

K A W A K A M I D A M 2006
川上ダム通信 11月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

川上ダムの現場に興味津々!! ダム下流地区の皆様への現場見学を実施



横坑内を見学する皆さん

11月26日(日)、阿保西部ダム対策委員会の皆様、川上ダムのダムサイトや付替県道工事現場などを見学されました。

ダムを建設する場所の岩盤状況を調査するために掘られた試掘横坑では、岩盤検査用のハンマーで実際に岩盤を叩いていただき、キーン、キーンと響く音と手を伝わってくる感触に地盤の硬さを体感いただいたところ、「凄いなあ」、「硬い岩盤だなあ」といった感想が聞かれました。記念にと、横坑内の岩のかけらを持って帰られる方もおられました。

続いて、付替県道松阪青山線工事現場では進捗している工事状況をつぶさに見学いただきました。完成後は、旧青山町管内の上流地区と下流地区のアクセスが格段に向上することから、「道路を早く完成させてほしい」という早期の供用開始を望む声が多く聞かれました。

今年は今回の現場見学の他に、6月25日に阿保東部ダム対策委員会の皆様、10月11日に老川区ダム対策委員会の皆様に対して現場見学を行ったところです。今後も現場見学などを通じて、川上ダム事業の進捗状況を地域の皆様にご知らせしていきます。

【第二用地課長 芦田哲郎】



工事現場での説明の様子

第8回川上ダム植物保全対策に関する技術指導

11月15日（水）、「第8回川上ダム植物保全対策に関する技術指導」【専門委員（敬称略）：大手桂二（京都府立大学名誉教授）、大田崇（元青山町立矢持小学校校長）、瀬戸剛（元大阪市立自然史博物館主任学芸員）】を実施しました。この技術指導は、工事により生育環境に影響を及ぼす恐れのある重要な植物を保全するために、専門家から指導・助言を頂くことを目的として平成12年より実施しているものです。

重要な種の自生地などを現場視察頂いた後、川上ダム建設所ふれあいホールにて審議を行いました。

審議では、本年、三重県と伊賀市のレッドデータブックが発行されたことで新たに重要種として追加された種について、今後生育状況の調査や保全対策の検討を行うことので了承されました。

また、委員から、重要な種のうちキキョウ・オミナエシといった明るい草地環境を好む種については、移植する際に高茎草本が繁茂しないよう草刈りを行うこと、育苗施設では防風対策として防風ネットを設置することなどをご指導頂きました。



会議の状況（ふれあいホール）



設置された育苗施設の防風ネット

川上ダムでは、こうした技術指導や移植試験、育苗などに取り組むことにより、植物の保全対策を適切に実施していきます。

【環境課 北村ゆき子】

川上ダム環境保全活動に激励の声



オオサンショウウオ保護池での説明の様子

木津川で河川清掃等の環境保全活動を展開している「木津川を美しくする会」山城支部（事務局：京都府山城町役場）の定例研修会が11月22日（水）に川上ダムで開催されました。

メンバーの方々17名が川上ダム建設所での概要説明の後、ダムサイト、道路工事現場、オオサンショウウオ保護池等を視察され、川上ダムについて理解を深めていただきました。参加者からは「大変に勉強になった」「環境保全対策は地道で大変だろうが引き続き頑張ってもらいたい」「ダム本体建設時にも来所したい」等の意見を伺い、早期のダム建設に向けてエールをいただきました。

【工務課長 北牧正之】

川上ダム安全協議会で「交通安全標語」を募集

11月21日（火）、18年度第8回川上ダム安全協議会において、飲酒運転防止や交通安全啓発を呼びかける交通安全標語の募集の取り組みを提起しました。

この標語は、工事関係者や川上ダム職員から広く募集するものであり、優秀作は川上ダム建設所での交通安全啓発活動に使用いたします。

【総務課 武村剛泰】



川上ダム安全協議会の様子

STOP！！『ゴミの不法投棄』

先頃、ダム事業用地内で家庭ゴミを燃やした跡が見つかりました。不法投棄した上で焼却するという悪質な行為です。これから、空気が乾燥し火事が起こりやすい季節となります。最悪の場合、延焼して山火事を引き起こす恐れもありますので、ダム事業用地内でゴミを燃やしている人や燃やした跡を見かけられましたら当建設所までご連絡下さい。

【第二用地課 塩飽俊夫】



悪質な不法投棄の跡

川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線第5工区（その8）工事

川上ダム建設事業に係る付替県道松青線工事の最上流部分となる「付替県道松青線第5工区（その8）工事」について紹介します。

本工事の概要は、施工範囲約180m、幅員8mで、現道と付替道路の取付け部分に当たり、工期は平成18年10月13日から平成19年9月27日の350日間です。11月末より本格的に工事を開始し、まずは現道の迂回路工を行います。工事現場は民家及び現道に近接している箇所であり、また現道を一時通行止めにしての工事を予定していることから、地域の皆様にはご迷惑をおかけします。ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。【工事課 田中幸志】



付替県道松青線第5工区（その8）工事概要図

第5回

～大きさのはなし～ ちよつとオオサンショウウオ！

日本一大きいオオサンショウウオは、広島県の江の川の支川で1993年に保護された個体で、残念ながら2002年に死亡してしまいましたが、なんと体長約150cm、体重約28kgだったそうです。このオオサンショウウオは100年以上生きていたとも言われますが、オオサンショウウオの生態自体に不明なことが多く、正確なところは分かりません。果たして、日本にはもっと大きなオオサンショウウオがいるのでしょうか？

ちなみに、川上ダム建設所では、前深瀬川流域においてオオサンショウウオの生息確認調査を1996年から継続して行っていますが、1m以上のものが確認されたのは1997年の調査での1個体（体長102cm、体重7.9kg）のみです。

【環境課長 大村朋広】

小魚、サワガニ、カエル、水生昆虫を主に食べています。ネズミやヘビも食べる場合があります。

外見ではオスとメスを見分けることはできません。

上あごにはノコギリのような歯があります。口の前に手を出すとかみつきますよ！

前足の指は4本、後ろ足の指は5本あります。



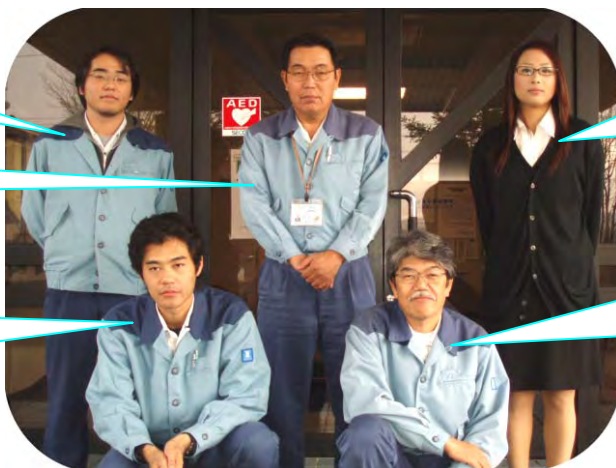
前深瀬川流域で確認されたオオサンショウウオ
（体長 約80cm、 体重 約4kg）

建設所紹介④ 《工事課》

工事監督を担当している田中幸志です。

工事課長の田原秀光です。

工事監督を担当している山田英和です。



事務補助をしている福田たえ子です。

工事監督、業務総括を担当している望月登です。

連載企画

《第④話その2 朝廷内の陰謀》

創作『阿保千方湖物語』

噂とは、「千方は、巨大なため池を造って一挙に決壊させ洪水を起こし、奈良の都を壊滅させようとしている。要石は奈良の都にだけ地震が起こるようにとの願いかけであり、雨乞石は都に降る雨がすべて阿保の里に降るようにするもの。夫婦石は土石流が奈良の都を直撃するように願いかけしたもの。千方は都の水不足に乗じて朝廷を潰そうとしている」と。

朝廷の役人や民衆たちは、「何をたわけたことを」とはじめは全く取り合いませんでした。しかし、噂は巧妙に広められ、少しずつ懸念が大きくなり、ついに千方征伐の命が下されました。「千方を討たねば都が潰される。阿保の里を攻め落とせ」と。征伐軍の総大将に選ばれたのは『紀友雄』。文武に奏でた若き武将で、冷静な洞察力と優れた行動力を持っていましたが、巧妙に仕組まれた陰謀を見破ることはできませんでした。（つづく）

[川上ダム建設所編集]

狩猟注意看板の設置

今年度も狩猟期間が始まりましたが、危険防止のため、事業用地内における銃器を使用した猟をご遠慮いただくよう注意看板を設置しました。事故等の発生事例も聞かれておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

【第一用地課 鈴木繁】



設置された注意看板

EVENT

歴史講演会「清流木津川歴史ロマンの大河」

木津川で水力発電を行った田中善助の功績や歴史について知ってもらう講演会の他に、江戸時代に描かれた木津川絵図も伊賀で初公開されます。無料。

○日時／12月2日（土）13:30 開演

○場所／県伊賀庁舎（伊賀市四十九町）

○問い合わせ／伊賀県民センター事務局 TEL0595-24-8003

編集後記

早いもので今年も師走を迎えますが、川上ダム建設所では、「飲んだら乗らない」を徹底し、飲酒運転の撲滅及び安全運転に努めていきます。

[広報誌発行事務局]

編集長 恒吉 徹（川上ダム建設所長）

デスク 上村 信幸（総務課長）

〃 北牧 正之（工務課長）

通信記者 武村 剛泰（総務課）

〃 立石 浩行（調査設計課）